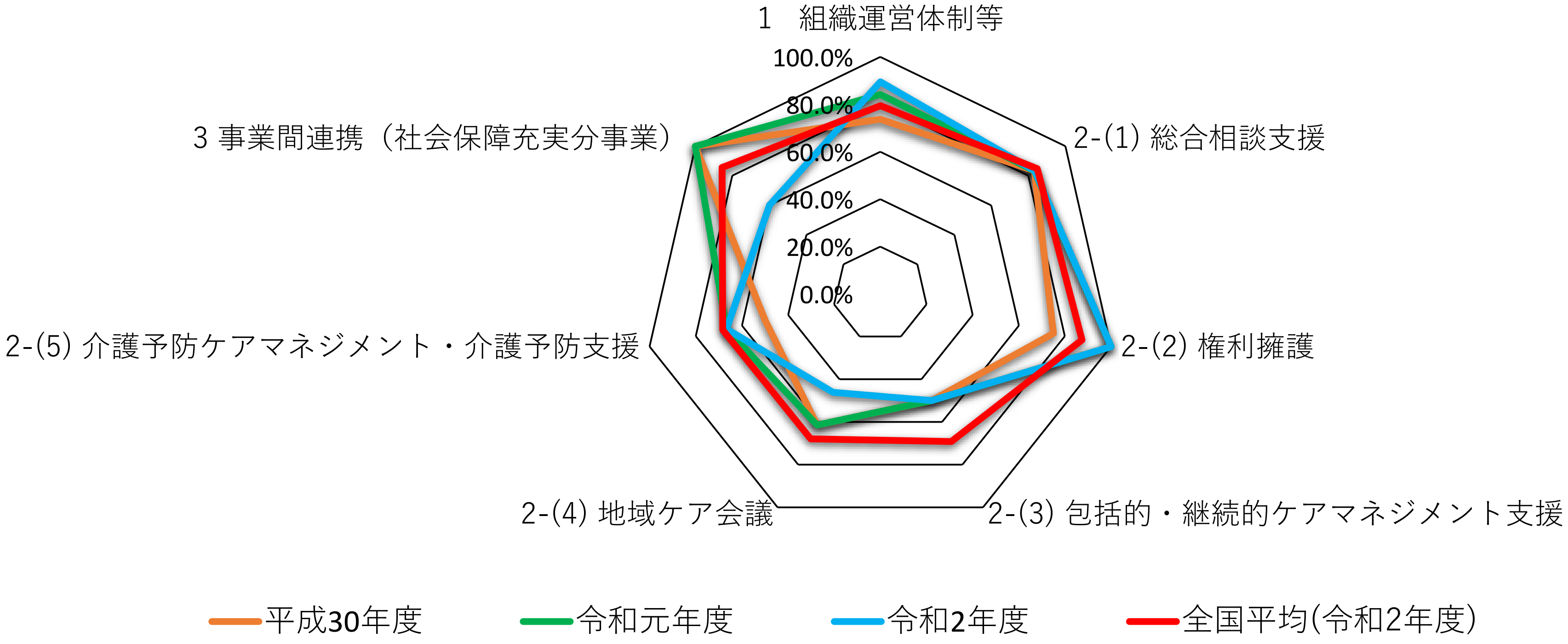
小牧市の評価結果

資料1

■レーダーチャートについて■
〇レーダーチャートに示されている「７項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。
〇例えば、『２　個別業務』の「２-(1)　総合相談支援業務」６の設問に対し、「〇」の付いた設問が４か所ある場合は、「2-(1)　総合相談支援」の平均値は４/６＝66.7％（小数点2位を四捨五入）となります）。
〇レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、市町村の「特徴」が確認できます。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国平均(令和2年度)
1	1　組織運営体制等	73.7%	84.2%	89.5%	79.4%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%	83.3%	84.8%
3	2-(2) 権利擁護	75.0%	100.0%	100.0%	87.4%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	50.0%	50.0%	50.0%	69.2%
5	2-(4) 地域ケア会議	61.5%	61.5%	46.2%	68.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	50.0%	66.7%	66.7%	68.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%	60.0%	85.6%



１．小牧市の評価結果

・「組織運営体制」の項目については、令和元年度と比較して評価が上がりました。主な要因としましては、地域包括支援センターの3職種の職員数が充足したものと考えます。
・「地域ケア会議」の項目については、令和元年度から多職種と連携した自立支援型のケースカンファレンスを実施し、個別事例を通して、自立支援・重度化防止について取り組んでいますが、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、カンファレンスが実施できなかったことから、評価が低くなっています。令和２年度は模擬カンファレンスを行い、動画を配信するなどして、令和３年度のカンファレンス開催に向けた準備期間としました。
・「事業間連携」につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会や勉強会を開催できなかったことから、評価が低くなりました。

２．運営協議会からの意見等

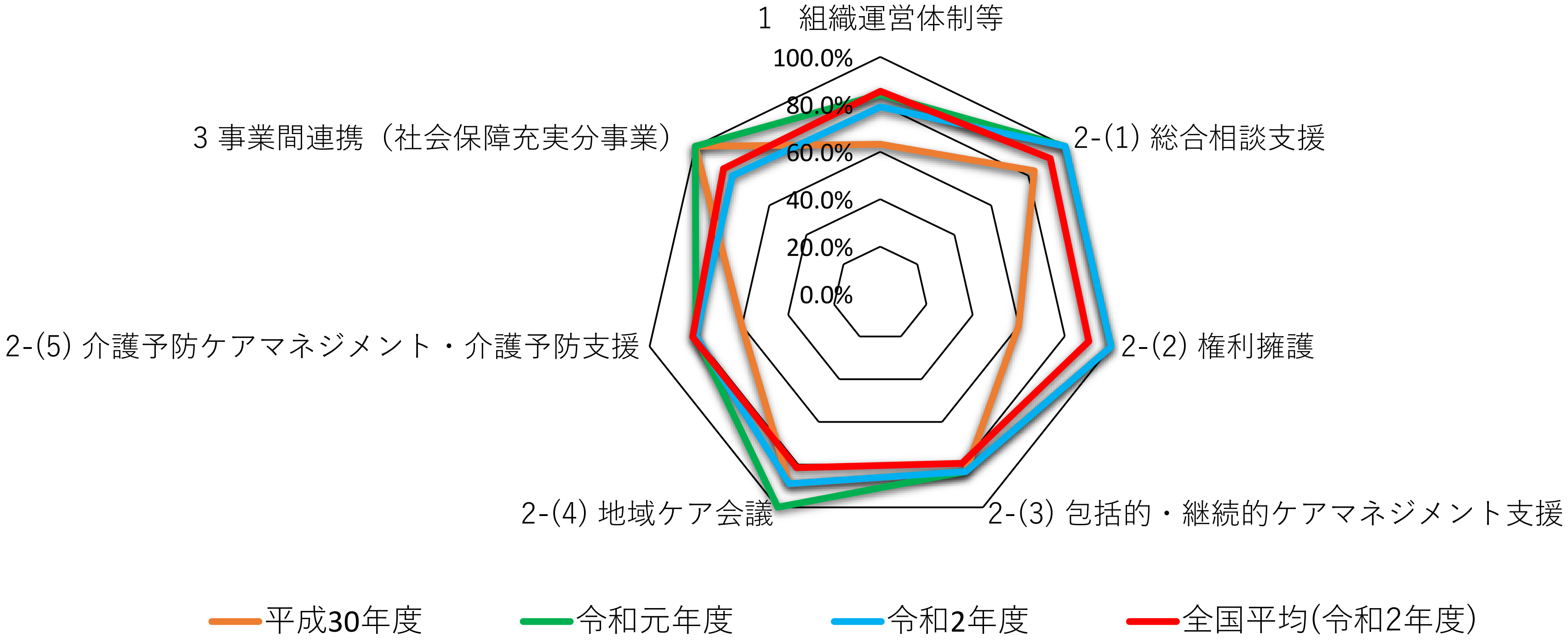
コロナ禍で人が集まることができにくい状況であり、多職種の連携においても同様であることから、研修や勉強会など、オンラインでも参加可能な体制が整備されると良い。

南部地域包括支援センターケアタウン小牧の評価結果

資料１

■レーダーチャートについて■
○レーダーチャートに示されている「７項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。
○例えば、『２　個別業務』の「２-(1)　総合相談支援業務」６の設問に対し、「○」の付いた設問が４か所ある場合は、「2-(1)　総合相談支援」の平均値は４/６＝66.7％（小数点2位を四捨五入）となります）。
○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国平均(令和2年度)
1	1　組織運営体制等	63.2%	84.2%	78.9%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	60.0%	100.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	83.3%	83.3%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	88.9%	100.0%	88.9%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	60.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%	80.0%	84.8%



１．南部地域包括支援センターケアタウン小牧の評価結果

・開設4年目となり、全体的に各事業への取り組みや評価も安定してきています。
・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が停止したことから、「地域ケア会議」や「事業間連携」の評価が低くなりました。
・低くなった評価もありますが、全体的には、バランスよく事業が実施できました。
・新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況ではありますが、その中でもできる支援を工夫し、引き続き安定した事業運営を期待します。

２．運営協議会からの意見等

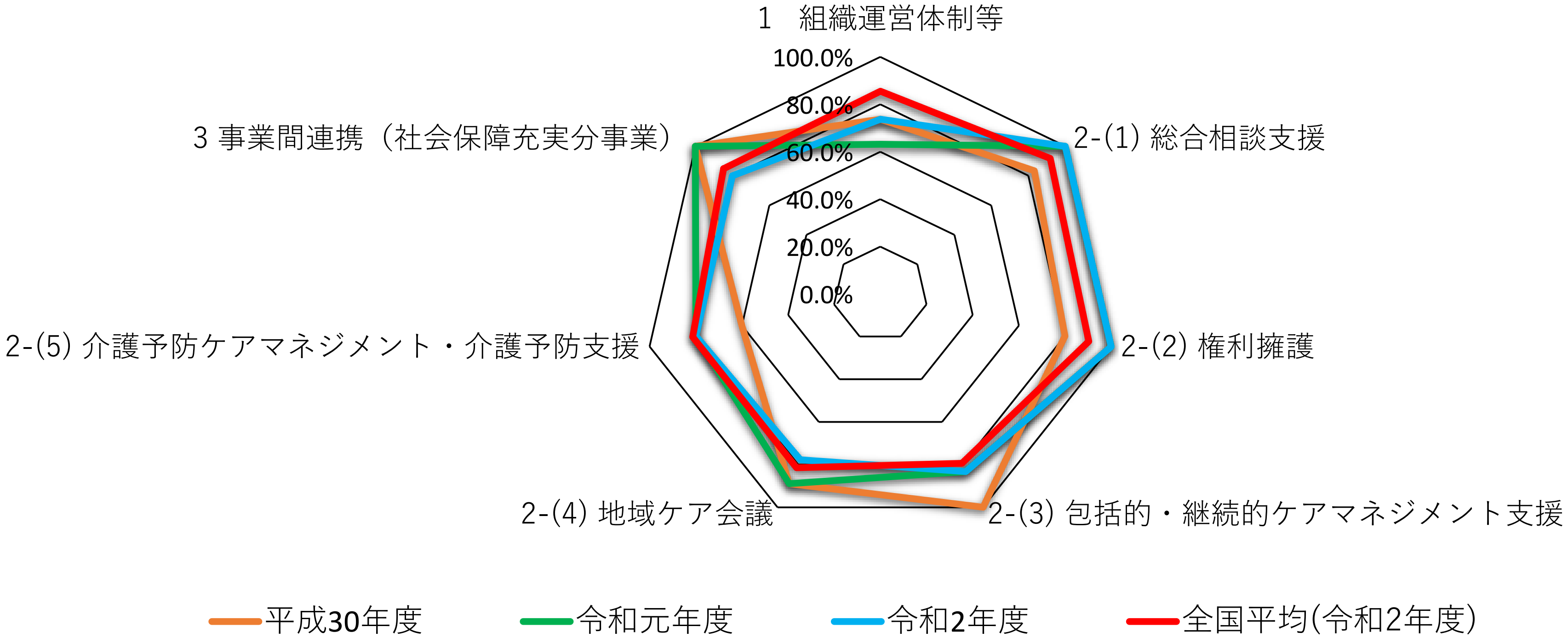
新しい民生委員に対する研修を実施するなど、バランスよく活動されている。
新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた活動とSNSなど新しい手法での啓発活動に期待したい。

小牧地域包括支援センターふれあいの評価結果

資料１

■レーダーチャートについて■
〇レーダーチャートに示されている「７項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。
〇例えば、『２　個別業務』の「２-(1)　総合相談支援業務」６の設問に対し、「〇」の付いた設問が４か所ある場合は、「2-(1)　総合相談支援」の平均値は４/６＝66.7%（小数点2位を四捨五入）となります）。
〇レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国平均 (令和2年度)
1	1　組織運営体制等	73.7%	63.2%	73.7%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	80.0%	100.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	83.3%	83.3%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	88.9%	88.9%	77.8%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	60.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%	80.0%	84.8%



１．小牧地域包括支援センターふれあいの評価結果

・令和元年度は「組織運営体制等」の項目の評価が低くなっていましたが、令和2年度は住民への周知について取り組まれたことから、評価が上がりました。
・新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が停止したことから、「地域ケア会議」や「事業間連携」の評価が低くなっています。
・2圏域を担当し、今後も高齢者数が増加していくことから、職員の人員確保に加え、職員間及び他機関との連携強化に期待します。

２．運営協議会からの意見等

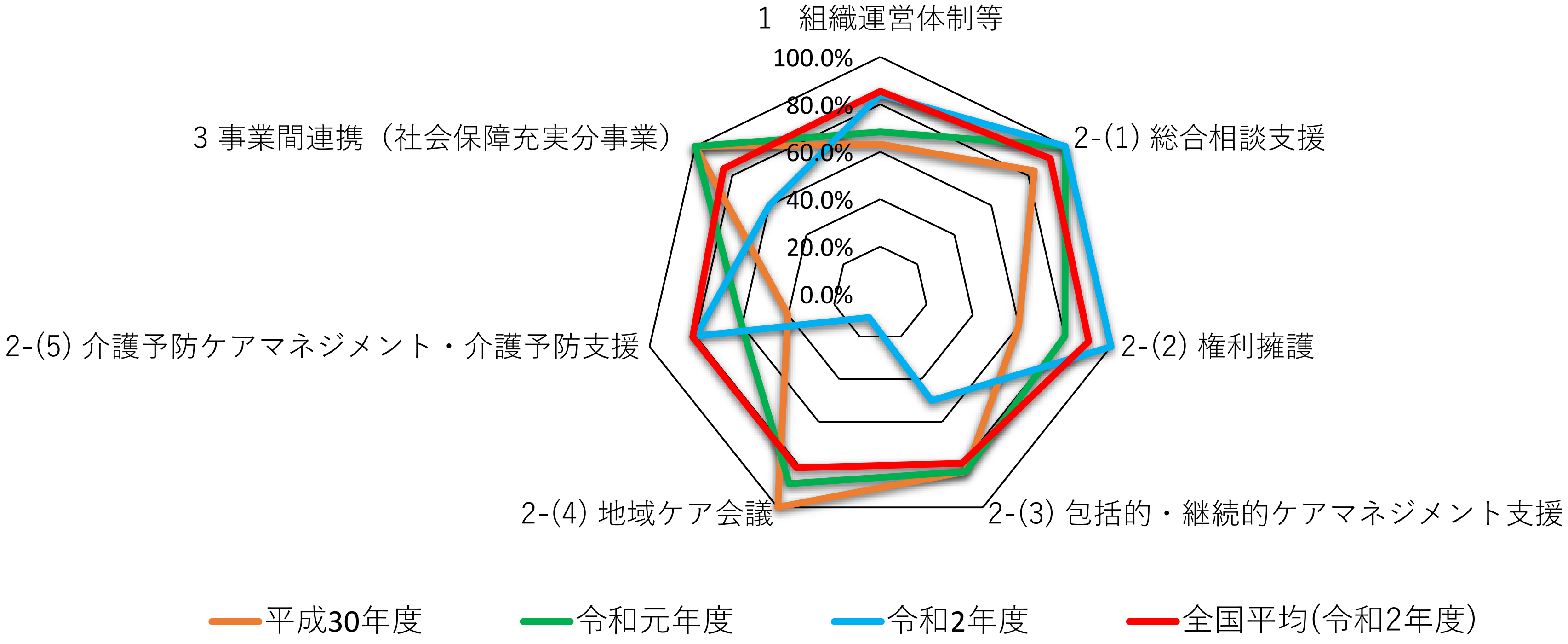
地域支え合い推進員と協力しながら、支え手がいない地域やコミュニティが薄い地域への支援の強化に期待したい。

味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷の評価結果

資料１

■レーダーチャートについて■
○レーダーチャートに示されている「７項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。
○例えば、『２　個別業務』の「２-(1)　総合相談支援業務」６の設問に対し、「○」の付いた設問が４か所ある場合は、「2-(1)　総合相談支援」の平均値は４/６＝66.7％（小数点2位を四捨五入）となります）。
○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国平均(令和2年度)
1	1　組織運営体制等	63.2%	68.4%	84.2%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	60.0%	80.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	83.3%	50.0%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	88.9%	11.1%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	40.0%	60.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%	60.0%	84.8%



１．味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷の評価結果

・令和元年度より大幅に評価が下がった項目がありました。特に「地域ケア会議」の評価が低く、これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域ケア会議が開催できなかったことが要因と考えられます。
・「包括的・継続的ケアマネジメント支援」についても、事業活動の停止から、関係機関との意見交換や事例検討が実施できなかったことが要因であると考えられます。
・「組織運営体制等」については、住民への周知について取り組まれたことから評価が上がりました。
・新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況ではありますが、その中でもできる支援を工夫し、実践していくことを期待します。

２．運営協議会からの意見等

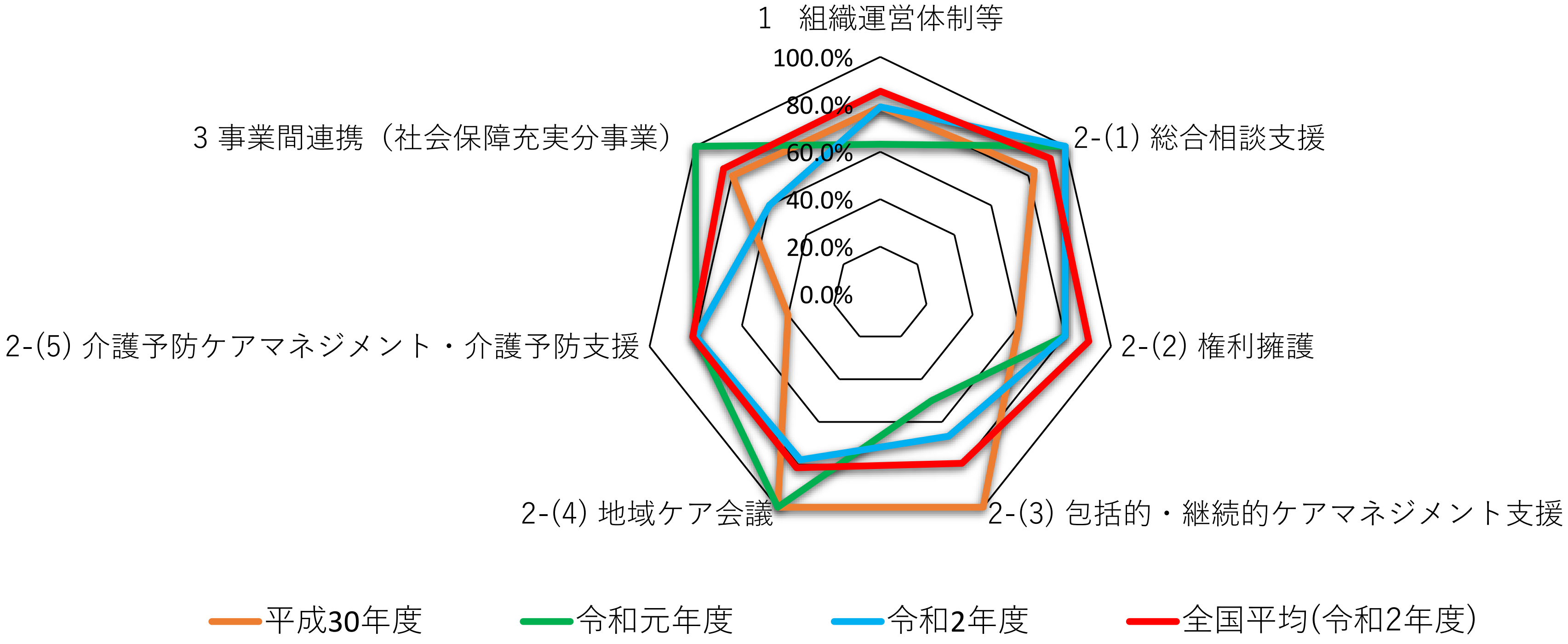
　コロナ禍においてもできる支援を工夫しながら、医療や福祉以外の業種との連携などによる取り組みを進めていただけると良い。
　また、コロナ禍の状況を踏まえ、SNSなど環境整備を含めた、新しい手法での対応力強化に努めていただきたい。

篠岡地域包括支援センター小牧苑の評価結果

資料１

■レーダーチャートについて■
○レーダーチャートに示されている「７項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。
○例えば、『２　個別業務』の「２-(1)　総合相談支援業務」６の設問に対し、「○」の付いた設問が４か所ある場合は、「2-(1)　総合相談支援」の平均値は４/６＝66.7%（小数点2位を四捨五入）となります）。
○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国平均(令和2年度)
1	1　組織運営体制等	78.9%	63.2%	78.9%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	60.0%	80.0%	80.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	50.0%	66.7%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	100.0%	77.8%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	40.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	100.0%	60.0%	84.8%



１．篠岡地域包括支援センター小牧苑の評価結果

・「組織運営体制」と「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の項目について、評価が上がりました。これは、3職種の人員体制が充足したことが要因と考えられます。
・他の地域包括支援センターと同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動が停止したことから、「地域ケア会議」や「事業間連携」の評価が低くなりました。
・篠岡地区は市内でも一番、高齢化率が高い圏域であるため、今後も組織運営体制の安定と維持に努め、安定した事業運営に期待します。

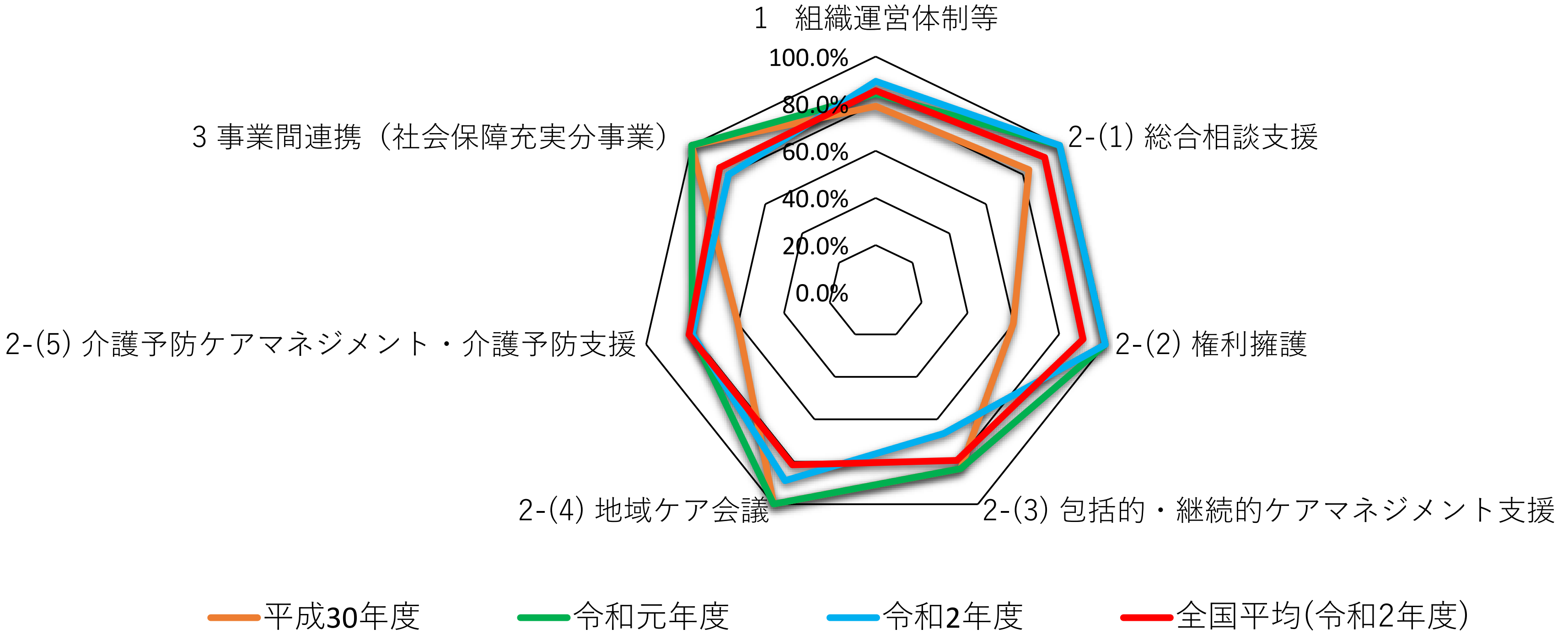
２．運営協議会からの意見等

　桃花台地区は、高齢者のみ世帯や独居の人も多いことから、高齢化率の高い地区におけるオレンジカフェへの参画や強化に期待したい。

北里地域包括支援センターゆうあいの評価結果

■レーダーチャートについて■
〇レーダーチャートに示されている「７項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。
〇例えば、『２　個別業務』の「２-(1)　総合相談支援業務」６の設問に対し、「〇」の付いた設問が４か所ある場合は、「2-(1)　総合相談支援」の平均値は４/６＝66.7％（小数点2位を四捨五入）となります）。
〇レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	全国平均(令和2年度)
1	1　組織運営体制等	78.9%	84.2%	89.5%	85.6%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	100.0%	100.0%	91.8%
3	2-(2) 権利擁護	60.0%	100.0%	100.0%	90.3%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	83.3%	83.3%	66.7%	79.4%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	100.0%	88.9%	81.5%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	60.0%	80.0%	80.0%	81.4%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%	80.0%	84.8%



１．北里地域包括支援センターゆうあいの評価結果

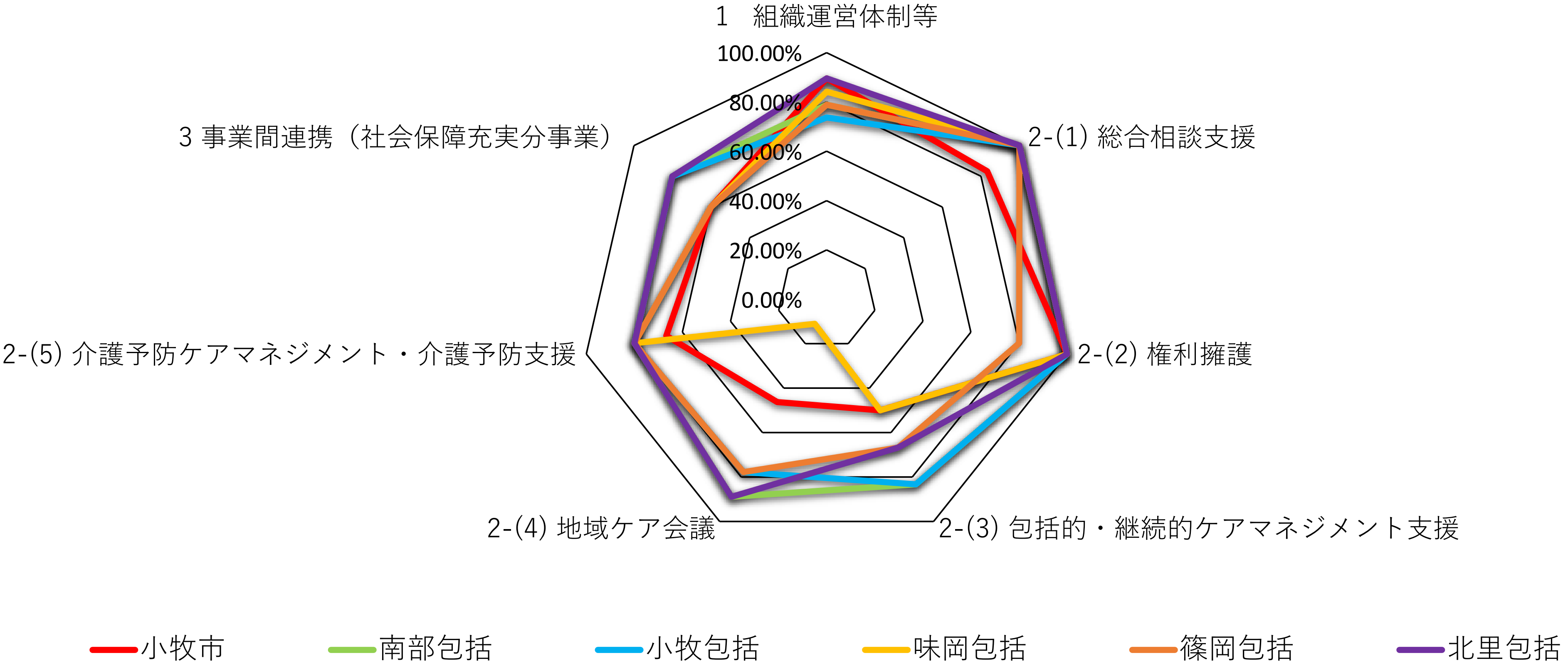
・新型コロナウイルス感染症の影響により地域活動が停止したことから、「地域ケア会議」や「事業間連携」「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の評価が低くなりました。
・「総合相談支援」や「権利擁護」については、引き続き、安定した事業運営を行えています。
・新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況ではありますが、その中でもできる支援を工夫し、実践していくことを期待します。

２．運営協議会からの意見等

各種事業において、メンバーの自主活動ができているところが評価できる。今後も参加者の気持ちをまとめながら、事業を運営していただきたい。

令和２年度の評価結果の比較

令和2年度		小牧市	南部包括	小牧包括	味岡包括	篠岡包括	北里包括
1	1　組織運営体制等	89.5%	78.9%	73.7%	84.2%	78.9%	89.5%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	50.0%	83.3%	83.3%	50.0%	66.7%	66.7%
5	2-(4) 地域ケア会議	46.2%	88.9%	77.8%	11.1%	77.8%	88.9%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	66.7%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	60.0%	80.0%	80.0%	60.0%	60.0%	80.0%



１．令和２年度の評価結果の比較

・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動の停止や外部との接触が制限されたことから、「地域ケア会議」「事業間連携」などの評価が全体的に低くなりました。
・一方で、「総合相談」や「権利擁護」など、個別支援に関する項目については、高い評価となりました。
・令和２年度は、各包括ともに組織運営体制が改善・維持できており、引き続き、人員確保と安定した運営ができるよう取り組んでいく必要があります。
・新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない状況であり、新しい生活様式に沿った活動と支援を工夫しながら、実践していくことが今後の課題となっています。

２．運営協議会からの意見等

　コロナ禍で認知症の方の増加や身体機能の低下などが懸念されることから、認知症予防や介護予防の取り組みを強化していただきたい。
　また、コミュニティの希薄化や支援者が不在など、気になる地域の把握に努め、地域支え合い推進員や地域協議会との連携を図りながら支援の強化に努めていただきたい。